

7月 Pミーティング(7/31)

川島小学校 6月5日:コマトリックス見直し研修を実施。学年団で目標のすり合わせ。

- 7月3日:今年度計画の作成研修。各学年で話し合いを深める。
- 夏休み中:学年団で指導手続きを実行可能レベルまで話し合い。
- 7月24日時点:ベースライン期間が長め。キャンペーン期間は2ヶ月。
- キャンペーン内容:
 - 重点目標へのアプローチは1回。
 - 「話の聞き方」を低・中・高学年でそれぞれ実施。
 - ビー玉によるポイント制(最大3つ/人)、ボーナスポイントあり。
 - 全校で2397個のビー玉を集める成果。

川島中学校

- 今年度も継続的に PBS 活動を実施。
- 昨年度作成したマトリックスを今年度も使用。
- 新入生(1年生)にマトリックスを提示し、活動の意義を説明。
- 生徒会が中心となり、挨拶動画を作成・配信。
- 委員会活動を通じて、マトリックスの目標を選定しキャンペーンを展開予定。
- 課題:委員会メンバーが揃わず、活動が停滞。夏休み明けから再始動予定。
- 成果:教員の生徒への関わり方が変化し、会話や褒める場面が増加。

南部中学校

- 4月:小倉先生と研修を実施。
- 6月・7月:キャンペーン予定だったが、部活動(バスケ部の四国大会出場)で多忙。
- 活動内容:
 - 生徒会中心に挨拶活動を展開。
 - 各クラスに「気の幹」掲示物を配布。

- 挨拶ができた割合に応じてシールを貼る形式。
- 課題:準備段階に関与できず、活動の詳細把握が困難。

方上小学校

- 月目標と PBS マトリックスを連動させて活動。
- 各委員会が月目標に沿った啓発活動を企画・実施。
- 代表委員会が教材作成を担当し、先生の負担軽減。
- キャンペーン月:9月・11月(重点月)、年間3回。
- フィードバック方法:
 - 個人のシール台紙によるランクアップ制度(挨拶名人 → 挨拶千人など)。
 - クラス単位から個人単位への評価へ移行。
- 成果:先生方の自発的な動きが増加し、活動が自走し始めている。

脇町幼稚園

- 昨年度:キャラクター「今こちゃん」「うだつぼうや」を活用し、週1回目標設定。
- 今年度:継続予定だが、夏休み中に計画中で未実施。
- 新任の先生が中心となり、9月以降の活動を検討中。
- 個人フィードバックの工夫:
 - キャラクターを使ったキーホルダーやストラップなどの報酬案を検討。

脇町小学校

- 情報なし(文字起こし内に明確な記録が見当たりませんでした)

脇町中学校

- 昨年度:生徒会がマトリックスを作成。
- 今年度:そのマトリックスを継続使用。
- 活動内容:

- 委員会ベースでキャンペーンを展開予定。
- 挨拶動画を作成・配信済み。
- 課題:委員会が集まらず、活動が停滞。夏休み明けから再始動予定。
- 成果:教員の生徒への関わり方が変化し、会話や褒める場面が増加。

取組報告後に出た主な課題

1. 記録・周知方法の課題

- 「記録どうするの?」「どうやって周知するの?」という声が複数の先生から挙がった。
- 特に挨拶の記録に関して、時間帯外の児童の扱いに悩みがあった(例:登校時間帯外の挨拶がカウントされない問題)。

2. フィードバックの公平性

- 声が小さい児童が「爽やかな声で挨拶」基準を満たせず、ポイントがもらえないケースがあり、救済措置として「声を出すだけでもポイント付与」へ変更。
- クラス単位の評価から個人単位への移行が進められているが、まだ課題が残る。

3. 管理職の関与不足

- 管理職の異動により、PBS 活動の方針が変わり、推進リーダーが進めづらくなるケースが発生。
- 校長が PBS に積極的でないと、活動が停滞する傾向がある。
- 「校長が先生を PBS する」視点の重要性が指摘された。

4. 委員会活動の停滞

- 委員会メンバーが揃わず、キャンペーンが進まない学校が複数あり(例:脇町中、南部中)。
- 委員会中心の運営が難しい場合、代替案の検討が必要。

5. PBS と巡回の兼任問題

- PBS コンサルタントが通常の巡回業務と兼任していると、PBS 活動に十分な時間が割けない。
- 「PBS と巡回の兼任は原則禁止にしてほしい」という意見もあり。
- この件は、人による。兼務がいい意見もあり。

■ P コンマニュアル加筆修正に関する意見・要望

1. P コン支援マニュアル

- マニュアルは「導入前」「導入段階」に分かれており、各段階での支援内容が整理されている。
- 実際の支援経験と照らし合わせて、「この時期にこの資料があればよかった」「この研修が足りなかった」などのフィードバックをしてほしい。
- メールで依頼する。

2. 教材・資料の共有方法

- メールでの個別共有ではなく、「学びの場」などで教材を蓄積・共有する仕組みが必要。
- 教材が蓄積されれば、異動後も継続的に活用できるという利点がある。

今後の PBS 関連予定まとめ

1. 8 月 19 日(予定)

- **PBS ワーキング(第 3 回)**
 - 学島小学校の動画報告あり(編集済み、10~15 分程度)
 - 各校の進捗共有・課題整理

- Pコンマニュアルの加筆修正に向けた意見交換

2. 8月のPコンミーティング

- 開催見送り
 - 緊急連絡がある場合は、メールまたは「学びの場」掲示板で対応

3. Pコンマニュアルの加筆修正に関する対応

- 白桃先生作成の案を元に意見提出
 - 専門家視点でのフィードバックを求められている
 - 「PBSと通常巡回の兼任は原則禁止」の明記を希望する声あり
 - データはメールで共有予定(掲示板ではなく)

4. 事前打ち合わせ(ワーキング講師向け)

- 開催時期:ワーキングの約1ヶ月前
 - オンラインで実施予定
 - 日程は後日調整・連絡